

地域だより いしばし

第19号 2015年9月

石橋地域コミュニティ推進協議会



5月28日(木)、平成27年度
石橋地域コミュニティ推進協議会の
総会が行われました。

新年度を迎えて、会長をはじめ各部長が変わり、気持ちも新たにスタートいたしました。年度始めのごあいさつとして、各部長より活動内容の紹介です。

環境部会

- 「汚れない街をつくる」
一部のモラルのない行動には怒りを感じますが、タバコのポイ捨てについてはかなり効果が出てきています。
- 「緑と花の美しい街づくり」
石橋公園の芝生化、花壇の増設、地域住民の楽しい憩いの場として利用していただきたい。
- 秋にガーデニング教室を開催予定
- 突然の大雨の対策が必要
側溝の点検、雑草の除去、石泥の除去等、地域内の現状を再確認する。居宅周辺の危険箇所は自分達でも気をつけていきたいと思います。

広報部会

- 年2回「地域だよりいしばし」の発行
地域の様子をお知らせします。

安全部会

- 地域全体の安全確保
プロジェクトチームを作り、防犯カメラの設置を行います。PTA、地域団体、小中学校の先生とで地域を回り、7ヶ所に設置を決定しました。
- 11月防災訓練
小学校と共同で行ないます。

教育・地域交流部会

- 7月18日(土)納涼大会
- 9月19日(土)ナイトフェスタ(子供会とコラボの事業)
- 10月11日(日)市民レクリエーション大会
- キャップ回収事業
- コピー、印刷機(井口堂北会館設置)
継続して利用していただけます。地域の活動に多めに役立っています。

湯浅博 新会長 挨拶

今年5月の総会で新会長に就任しました湯浅博です。前任の中村彰男及び西岡政治のご両人は、人柄とともに知識、組織運営に秀でた能力を発揮してこられました。ご両人には及びませんが、私なりに精一杯汗を流し、地域の皆様と「安心安全で心ふれ合う、また笑顔あふれる街づくり」を目指して参りたいと思います。

なお地域分権制度は発足後9年目を迎えますが、この制度の意義や活動内容は地域住民の皆様十分に認知されておりません。そのため石橋地域コミュニティ推進協議会は、自治会、各種団体、老人クラブ、中小PTA、幼稚園、保育所等からのご意見やご要望を積極的にお聞かせいただきたいと思っています。また地域住民や諸先輩、地域コミュニティに参加していただいている方々のご意見やご助言を真摯にお聞きして、これからの取り組みに生かして参ります。

「安心安全で心ふれ合う、また笑顔あふれる街づくり」に皆様のお力をお貸しいただき力強く推進して参ります。ご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

旭丘 です

asahigaoka

はじめまして

前号でごあいさついたしました。今回の誌面より実際の活動内容をご紹介します。



呉羽の里子ども会は現在 25 名の会員です。去る6月6日に、4年振りの行事で、チキンラーメンの手作り体験をしました。各自オリジナルパッケージ作りを楽しみ、展示室の見学、クイズで仲良く楽しみました。

池田市「ゴミ0の日」、旭丘1丁目自治会は5月31日(日)恒例の地域清掃を 190 名の参加を得て、バス道、自宅周辺の雑草ゴミの掃除を行いました。



私たちの活動

5月31日(日)アゼリアホールに於ける、関西シティフィル交響楽団のコンサートを旭丘1丁目自治会の文化部主催で 51 名の会員が鑑賞。自治会行事に初めての参加者も多く、新たに知り合う機会をもてました。



平成27年
7月18日
(土)

石橋校区納涼大会



▲オープニング、石小金管クラブの演奏

焼きそば、焼きとり、たこ焼き、フランクフルト、
たこせん、おでん、ちぢみ、わたがし、一銭焼き、
輪投げ、的あて、サイコロ、スーパーボールすくい等

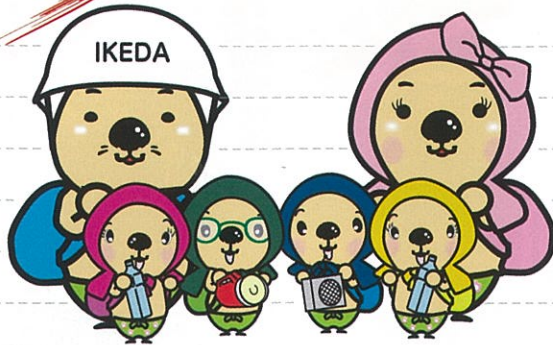


▲子供たちに人気のアイスキャンディーを配っています

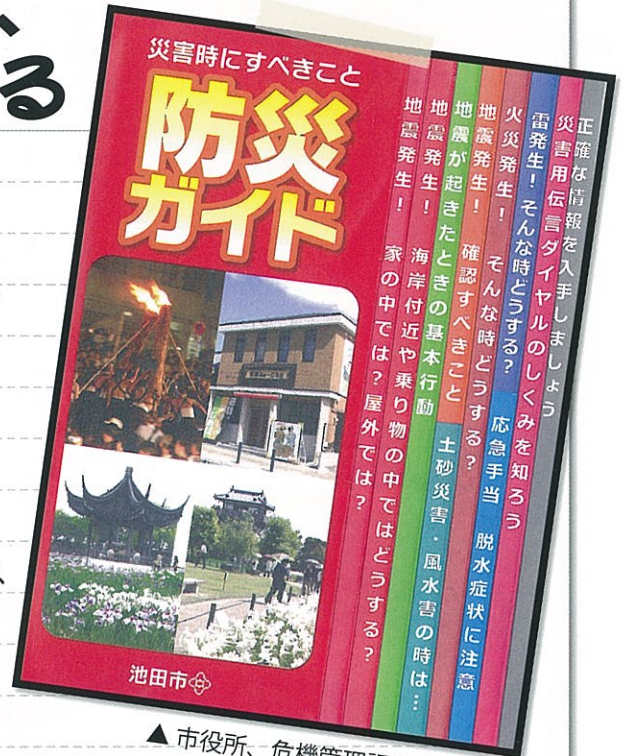


大型台風11号が通過し、開催が危ぶまれましたが、お天気もすっかり回復し、盆踊りや趣向をこらした夜店、たくさんの賞品が当たる抽選会など、最高のお祭りムードで盛り上がりました。

防災 自分の命、自分で守る



大きな災害も多くはない、穏やかな天候の池田市。その分、日頃から災害への意識や備えは十分でないかも知れない。**もし災害が起こったら・・・**。どうすれば良いのか、いま出来ることを考えておかないといけない。



▲市役所、危機管理課に有ります。

1.池田市洪水ハザードマップ&池田市防災マップを確認しよう

自分の住んでいる地域は大丈夫?安全に避難できるルートと場所を決めておく。

2.非常時の連絡手段を決めよう

何を利用するのか家族で話し合っておくと安心です。

家族で話し合い、確認し合おう

3.非常持ち出し品、備蓄品のチェックをしましょう

3日間(可能な限り1週間)分程度の備蓄品を家族の人数を考えて準備しておく。(消費期限の確認も)



4.防災訓練をしよう

日頃から地域での防災力を高めておく。

5.自分から積極的に情報を集めて、より安全に避難しよう

自分がある場所が安全かどうか、災害情報や気象情報の収集をすること。避難情報は「避難勧告」、「避難指示」等状況によって様々。

